

総合防災訓練における安否確認の事例について

項目	No.	内容	実施地区
自治会独自の資料作成 (マニュアル・様式など) (P2参照)	1	<p>安否報告方法について<u>迅速な安否確認及び熱中症対策として、総合防災訓練説明会後に、神長南・中・北の自主防災隊長3名が独自で、記載方法と考え方を作成、班別安否確認シートの記載内容を明確化</u>し、8/1の班長会議で班長への共有を図った。</p> <p>※熱中症対策として、対策本部を屋内（神長自治会館内）に設置するとともに、<u>事前に各戸に配布した安否確認シートを、訓練時（実災害時）に一時集合場所に持参し、班長が取りまとめ</u>て対策本部へ報告し、集計を行った。</p> <p>※神長中自治会長の班長への負担を気にする一言がきっかけで各戸へ記載方法と考え方を配布することとなった。</p> <p>また、訓練当日の集計作業短縮、品質統一化を目的とし、住民から得られるデータと市提出資料との関連付けを行った。</p>	神長北 神長中 神長南

2

防災訓練時に調査項目となっている、非常持ち出し品を持ってきた人数の調査や、家具固定を実施している世帯数を円滑に把握出来るように、自治会で様式を独自に作成し防災訓練で使用している。

春岡

【非常持ち出し品等調査】

情報伝達	自治会各班 ⇒ 自主防災隊災害対策本部					
令和7年度「袋井市総合防災訓練」(8月31日)						
I 非常用持ち出し品等調査				4 班		
一時避難場所に 集まった人数	(1) 非常用持ち出し品調査結果				(2) 災害用 備蓄品 準備済み 世帯数	(3) 家庭内の 家具等を 固定している 世帯数
	一時避難場所に非常用持ち出し品を持って来た人数					
	内 訳					
	飲料水	非常食	医薬品・常備薬	その他		
人	人	人	人	人	世帯	世帯
<p>※一人が飲料水と非常食を一時避難場所に携行してきた場合、集まった人数(1人)、持ってきた人数(1人)、飲料水(1人)、非常食(1人)となります。したがって、持ってきた人数は内訳の単純計ではありません。</p>						

※訓練当日(8/31)の午前10時までに、
公会堂の自主防災隊災害対策本部へ報告してください。

安否確認 シート の 事前作成 (P 5 参照)	3	<p>訓練当日に円滑な安否確認（○×を記入するのみ）ができるようにするために、自治会長・自主防災隊長が主体となって訓練前に自主防災台帳の確認・更新を行い安否確認シートの作成を行い訓練に臨んだ</p> <p><u>個人情報の掲載可否調査は各班長に行ってもらい、自主防災隊長が取りまとめ、シートに反映（OKの人は名前を、NGの人は例えばA、B等）</u></p>	木原
	4	<p>訓練当日に円滑な安否確認（○×を記入するのみ）ができるようにするために、自主防災隊長が（個人情報保護の観点から1人で）<u>班別安否確認シートを訓練前に世帯の実情に則した様式に改め、地域での安否確認がしやすいよう工夫を図った。</u></p> <p>※2世帯の家族は□を二重線で表記</p>	西田
	5	<p>訓練当日に円滑な安否確認（○×を記入するのみ）ができるようにするために、訓練前に、<u>自主防災隊長が安否確認シートを、個人情報の運用についても確認したうえで自治会住民全員の名前データを入力して使用した</u></p> <p>※<u>シートについては、定例班長会議（訓練前 8/30）の際に班長に作成方法の説明をした</u></p> <p><u>台帳に載っていない人は、当日その場で記入、載っていないかつ来ていない人は「不明」扱いとした（本来は見に行かなければならないが、訓練時間短縮のため）</u></p> <p>掲載可否については特に確認を行っていないが、台帳の注釈にその旨記載があるため、予め自治会役員に共有した上でシートを作成</p>	下山梨上
要配慮者等 の事前の 調査・把握 (P 5 参照)	6	<p>各班長が、<u>各家庭に①自力避難ができるかどうか②避難援助を希望するかを聴取し、自主防災隊長が取りまとめ、名前と①②の結果をシートに反映</u></p> <p>訓練前の、月1開催班長会議（自治会長と班長出席）に隊長が出席し、完成したシートを各班長に配った</p>	浅羽南
	7	<p>共助のため、班長が訓練2週間前から災害があった際に<u>自力避難が困難な方がいるか各戸へ訪問し確認をし、結果は現在自主防災隊長が保管している。</u>（共有については、個人情報に当たるためどのくらいまで共有するか決めかねているが、今後の訓練の展開にもよると考えている、とのこと）</p>	深見東

